

薬剤部からのお知らせ 2019 No.7

平成 31 年 3 月 8 日発行



医薬品の採用・中止・変更について —平成 31 年 3 月 7 日薬事委員会結果報告—

①院内新規試用医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
アレロック顆粒 0.5% (オロパタジン塩酸塩)	アレルギー性疾患治療剤
ビムパットドライシロップ 10% (ラコサミド)	抗てんかん剤
レキサルティ錠 1mg (ブレクスピプラゾール)	抗精神病薬
バクトロバン鼻腔用軟膏 2% (ムピロシンカルシウム水和物)	鼻腔内 MRSA 除菌剤
ビムパット点滴静注 200mg (ラコサミド)	抗てんかん剤

⇒ 平成 31 年 3 月 19 日より処方開始の予定です。

②院内採用中止医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
チアプリド細粒 10% 「サワイ」	脳代謝賦活剤
ドグマチール細粒 50% (スルピリド)	抗精神病薬
ジオクチルソジウムスルホサキシネート耳科用液「CEO」	耳垢除去剤
ニコチネル TTS30 (ニコチン)	禁煙補助剤
ボンフェナック坐剤 12.5mg (ジクロフェナクナトリウム)	鎮痛・解熱・抗炎症剤
フィニバックス点滴静注用 0.25g (ドリペネム水和物)	カルバペネム系抗生物質製剤

⇒ 院内の在庫がなくなり次第中止とします。

③院外採用中止医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
アンコチル錠 500mg (フルシトシン)	深在性真菌症治療剤
ウチダの八味丸 M	漢方製剤
コムプレラ配合錠 (リルピビリン塩酸塩、テノホビルジソプロキシルフマル酸塩、エムトリシタビン)	HIV 感染症治療剤
プルゼニド錠 12mg (センノシド)	緩下剤
ラシックス錠 40mg (フロセミド)	利尿剤
ワンデュロパッチ 3.4mg (フェンタニル)	経皮吸収型疼痛治療剤

⇒ 在庫がなくなり次第中止としますが、最終を平成 31 年 6 月 30 日とします。

④製剤変更医薬品

変更前医薬品名 ⇒ 変更後医薬品名	薬品分類
カベルゴリン錠 0.25mg 「タナベ」 ⇒ カベルゴリン錠 0.25mg 「サワイ」	ドパミン作動剤

⇒ 旧製剤の在庫がなくなり次第、変更とします。

⑤販売中止医薬品

医薬品名(成分名)	(外)：院外専用医薬品	薬品分類
テルロン錠 0.5mg (テルグリド)	(外)	ドパミン作動剤
エクジェイド懸濁用錠 500mg (デフェラシロクス)	(外)	鉄キレート剤
カリクレイン錠 10 単位 (カリジノゲナーゼ)	(外)	循環系作用酵素製剤

⇒ 在庫がなくなり次第中止とします。

【院内新規試用医薬品】

(オロパタジン塩酸塩)

▶アレロック顆粒 0.5%

Olopatadine 5mg/g [協和発酵キリン]

〔薬価〕61.1 円/g

【効】アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒

【用】(内) 成人：1 回 5mg を朝及び就寝前の 1 日 2 回投与する。

小児：7 歳以上の小児には 1 回 5mg を朝及び就寝前の 1 日 2 回投与する。2 歳以上 7 歳未満の小児には 1 回 2.5mg を朝及び就寝前の 1 日 2 回投与する。

(ラコサミド)

▶ビムパットドライシロップ 10% (劇)

Vimpat 100mg/g [第一三共]

〔薬価〕386.2 円/g

【効】てんかん患者の部分発作(二次性全般化発作を含む)

【用】(内) 成人：1 日 100mg より開始し、その後 1 週間以上の間隔をあけて増量し、維持用量を 1 日 200mg とする。症状により 1 日 400mg を超えない範囲で適宜増減するが 1 週間以上の間隔をあけて 1 日用量として 100mg 以下ずつ行うこと。

小児：4 歳以上の小児には 1 日 2mg/kg より開始し、その後 1 週間以上の間隔をあけて 1 日用量として 2mg/kg ずつ増量し、維持用量を体重 30kg 未満の小児には 1 日 6mg/kg、体重 30kg 以上 50kg 未満の小児には 1 日 4mg/kg とする。いずれも用時懸濁して経口投与する。30kg 未満の小児には 1 日 12mg/kg、30kg 以上 50kg 未満の小児には 1 日 8mg/kg を超えない範囲で適宜増減するが、増量は 1 週間以上の間隔をあけて 1 日用量として 2mg/kg 以下ずつ行うこと。50kg 以上の小児では、成人と同じ用法・用量を用いること。

(ブレクスピプラゾール)

▶レキサルティ錠 1mg (劇)

Rexulti 1mg/錠 [大塚]

〔薬価〕268.9 円/錠

【効】統合失調症

【用】(内) 1 日 1 回 1mg から投与を開始した後、4 日以上の間隔をあけて増量し 1 日 1 回 2mg を投与する。

(ムピロシンカルシウム水和物)

▶バクトロバン鼻腔用軟膏 2%

Bactroban 3g/本 [グラクソ]

〔薬価〕549.4 円/g

【効】次の患者及び個人の保菌する鼻腔内の MRSA の除菌：MRSA 感染症発症の危険性の高い免疫機能の低下状態にある患者(易感染患者)、易感染患者から隔離することが困難な入院患者、易感染患者に接する医療従事者

【用】(外) 適量を 1 日 3 回鼻腔内に塗布する。

(ラコサミド)

▶ビムパット点滴静注 200mg (劇)

Vimpat 200mg/20mL/V [第一三共]

〔薬価〕4,252 円/V

【効】一時的に経口投与ができない患者における、下記の治療に対するラコサミド経口製剤の代替療法：てんかん患者の部分発作(二次性全般化発作を含む)

【用】(内) [ラコサミドの経口投与から本剤に切り替える場合] 経口投与と同じ 1 日用量及び投与回数にて、1 回量を 30 分から 60 分かけて点滴静脈内投与する。

[ラコサミドの経口投与に先立ち本剤を投与する場合] 成人：1 日 100mg より投与を開始し、その後 1 週間以上の間隔をあけて増量し、維持用量を 1 日 200mg とする。いずれも 1 日 2 回に分け、1 回量を 30 分から 60 分かけて静脈内投与する。症状により 1 日 400mg を超えない範囲で適宜増減するが、増量は 1 週間以上の間隔をあけて 1 日用量として 100mg 以下ずつ行う。

小児：4 歳以上の小児には 1 日 2mg/kg より投与を開始し、その後 1 週間以上の間隔をあけて 2mg/kg ずつ増量し、維持用量を体重 30kg 未満の小児には 1 日 6mg/kg、体重 30kg 以上 50kg 未満の小児には 1 日 4mg/kg とする。いずれも 1 日 2 回に分け、1 回量を 30 分から 60 分かけて点滴静脈内投与する。4 歳以上の小児のうち 30kg 未満の小児には 1 日 12mg/kg、30kg 以上 50kg 未満の小児には 1 日 8mg/kg を超えない範囲で適宜増減するが、増量は 1 週間以上の間隔をあけて 1 日用量として 2mg/kg 以下ずつ行う。50kg 以上の小児では、成人と同じ用法・用量を用いること。